

次世代IPネットワーク推進フォーラム
研究開発・標準化部会 戦略検討WG
報告書

平成19年3月

目次

1 はじめに	1
2 戦略検討WGの目的	1
3 各会合開催の経緯	1
4 今後の活動方針	3
(参考資料)	4

1 はじめに

本報告書は、平成18年2月24日に次世代IPネットワーク推進フォーラム第1回研究開発・標準化部会にて設置されてから、平成19年3月14日に開催された第4回会合までの戦略検討WGの活動状況を取りまとめたものである。

2 戦略検討WGの目的

次世代IPネットワーク推進フォーラム(以下「フォーラム」という。)の研究開発・標準化部会戦略検討WGは、フォーラムの規約第3条に掲げる事業を具体化するため、研究開発・標準化部会設置要綱第5条に基づき、設置された。戦略検討WGは、次世代IPネットワーク推進フォーラム研究開発・標準化部会活動方針に基づき、次世代IPネットワークに関する研究開発・標準化の基本戦略及び推進方策を検討する。具体的には以下のとおり。

- ・ 我が国の国際競争力確保の観点から、研究開発・標準化項目の洗い出しや優先順位付けについて検討
- ・ ITU等の標準化機関の動向、スケジュール等も踏まえ、国際標準化提案の方向性について検討
- ・ 重要な国際標準化項目に関連する研究開発の推進方策について検討

3 各会合開催の経緯

戦略検討WGは、4回開催された。以下に、各会合の経緯を示す。

3.1 第1回戦略検討WG(平成18年3月15日)

平成18年2月24日に次世代IPネットワーク推進フォーラム第1回研究開発・標準化部会が開催された。その中で戦略検討ワーキンググループの設置が承認された。また、浅谷研究開発・標準化部会長により、戦略検討WGのリーダーに工学院大学の浅谷氏、サブリーダーにNTTの井上氏、KDDIの三澤氏、NICTの久保田氏が指名された。これをうけ、第1回戦略検討WG会合が3月15日に開催された。

(1) 戦略検討WGの設置要綱について

研究開発・標準化部会設置要綱第5条のワーキンググループに係る規定に基づき、必要な事項について定めた戦略検討WGの設置要綱について、承認された。

(2) 戦略検討WGの検討課題について

研究開発・標準化項目の洗い出しや優先順位付けについて検討するために、研究開発・標準化部会の構成員を対象として「研究開発・標準化テーマに関するアンケート」を実施することが承認された。

(3) その他

会合終了後、『次世代IPネットワーク推進フォーラム研究開発・標準化部会 チュートリアル』が開催され、浅谷部会長、TTC内藤氏、NICT久保田氏より以下のとおり講演があった。

- ・ 我が国におけるNGN標準化の重要性(浅谷部会長)
- ・ TTCにおけるNGNへの取り組み状況(TTC 内藤氏)
- ・ NICTにおける新世代ネットワークへ向けた研究開発(NICT 久保田氏)

3.2 第2回戦略検討WG(平成18年10月4日)

(1) アンケート結果を踏まえた今後の検討体制(アドホックグループ)について

第1回戦略検討WGにて決定された研究開発・標準化テーマに関するアンケートの集計状況について、井上サブリーダーより説明があった。

アンケートの集計に関する今後の検討体制について、三澤サブリーダーより説明があった。その中で、SWG設置に向け、アンケート結果を踏まえた重要技術項目の抽出を行うため、WGメンバー有志から構成される「アドホックグループ」を発足することとし、主としてインフラ系技術の検討を行うアドホックグループ1のリーダーにNTTの井上氏、主としてセキュア系技術の検討を行うアドホックグループ2のリーダーにNECの江川氏、主としてサービス系技術の検討を行うアドホックグループ3のリーダーにKDDIの磯村氏とすることが承認された。

アドホックグループのメンバーを募集し、短期間で集中的に審議を行うこととなった。

(2) NGN GSI会合(18年7月)の模様について

18年7月のNGN-GSI会合に日本代表団の一員として参加したNECの江川氏より、会合の模様について説明を受けた。

3.3 第3回戦略検討WG(平成18年12月12日)

(1) アドホックグループ検討結果について

第2回戦略検討WG会合で設置された3つアドホックグループの検討結果について、アドホックグループ1の井上リーダー、アドホックグループ2の江川リーダー、アドホックグループ3の三澤氏(磯村リーダーの代理)より説明があった。

(2) SWG設置について

各アドホックグループにおける検討結果を踏まえ、研究開発・標準化戦略を具体化していくため、以下の3つのSWGを設置することとなった。インフラ系技術SWGの主査にNTTの青木氏、セキュア系技術SWGの主査にNECの江川氏、サービス系技術SWGの主査にKDDIの磯村氏が指名された。各SWGの検討事項は以下のとおり。

・インフラ系技術SWG

- (1) エンドエンドQoS制御技術
- (2) 機能分散型トランスポート技術

・セキュア系技術SWG

- (1) IPTV向け高信頼化技術
- (2) 災害時即時復旧技術
- (3) NGN活用型セキュリティ技術

・サービス系技術SWG

- (1) FMC環境におけるサービスリソース制御技術
- (2) プレゼンス・コンテキスト共用システム相互接続技術
- (3) トランザクション型アプリケーション通信技術
- (4) 端末保守運用プロトコル技術

SWGのメンバーを募集し、重要技術項目の国際標準化の戦略的推進について検討することとなった。
なお、本戦略検討WGの活動状況について、平成18年12月19日に開催された情報通信審議会情報通信技術分科会第9回ITU-T部会において、浅谷リーダーから報告された。

3.4 第4回戦略検討WG(平成19年3月14日)

(1) これまでの活動内容と今後の活動方針について

平成19年3月28日に開催予定の研究開発・標準化部会への活動報告の内容として、これまでの戦略検討WGの活動内容と今後の活動方針について、事務局より説明があった。なお、今後の活動方針の概要は下記の4のとおりである。

(2) NGN-GSI会合(本年1月)の模様について

19年1月のNGN-GSI会合に日本代表団の一員として参加したNECの江川氏より、会合の模様について説明を受けた。

4 今後の活動方針

各SWGの今後の活動方針は以下のとおりである。

また、各SWGにおける検討の進捗に応じて、NGN-GSI会合等のタイミングに合わせ、WG会合を3～4か月に1回程度のペースで開催する。

(1) インフラ系技術SWG

本SWGではエンドエンドQoS制御技術と機能分散型トランスポート技術の2テーマに関して、以下の方針で活動を進める。前者はNGNリリース2での標準化を目指し、エンドエンドでのQoS制御技術の検討を実施し、SG12,13,15,16への提案を行う。後者は中長期的な視点でNGNリリース2以降での各国事業者のニーズの実現が容易なトランスポート技術の標準策定を目指す。両者ともに、必要に応じて、IETFやIEEEも活用しプロトコル実装、標準インターフェースの確立も目指す。

(2) セキュア系技術SWG

本SWGの検討事項として挙げられている3テーマに関して、IPTV向け高信頼化技術は主にリリース2向けという短期的な視点から、災害時即時復旧とNGN活用型セキュリティは中長期的視点から、ITU-T SG13,11,17等にて標準化を行う。プロトコル標準化に際してはIETFやIEEEも活用し、また中長期的テーマは研究的側面も強いので学会発表も積極的に行う。

(3) サービス系技術SWG

「FMC環境におけるサービスリソース制御」については、ITU-TのNGN Release 2に照準を合わせて検討・提案を進める。特に、要求条件については2007年度から提案活動を行っていく。「プレゼンス・コンテキスト共有システム相互接続技術」におけるプレゼンス連携についても、2007年度から要求条件の提案を進めていくが、ネットワークコンテキストについては、トランスポートストラタムの標準化動向を睨みつつ、当面は関連技術の調査を行う。「トランザクション型アプリケーション通信技術」については、まずNGNにおけるトランザクション型通信のサポートの必要性について検討し、必要性が明らかになった時点で提案活動を進めていく。また、RFIDのサポートについては、ITU-Tでの議論(NGN Release 2ないし3)に合わせて別途活動を行う。「端末の保守運用プロトコル技術」については、ジェネリックな要求条件、アーキテクチ

の検討を進めるが、それと平行して特に IPTV サービスにおける端末の保守管理の検討も行う。

(参考資料)

1 研究開発・標準化部会 戦略検討WG設置要綱

2 研究開発・標準化部会 戦略検討WG参加者名簿

3 我が国におけるNGN標準化の重要性(浅谷部会長)

4 TTCにおけるNGNへの取り組み状況(TTC 内藤氏)

5 NICTにおける新世代ネットワークへ向けた研究開発について(NICT 久保田氏)

6 NGNの今後の展開について(情報通信審議会情報通信技術分科会第9回ITU-T部会に対する戦略検討WGの活動報告用資料)